



熊本県 高校生に入職促進

建設産業14団体が魅力発信

喫緊の課題である業界の担い手確保。熊本県は8日、高校生に向けた「建設産業ガイダンス」を熊本城ホールで開催した。建設産業の魅力やキャリア形成などを伝え、業界への理解や関心を高め、入職の具体的イメージを促進する狙い。

出展したのは、建設業協会青年部、建築協会、道路舗装協会、塗装防水仕上業協同組合、熊友

会型枠協同組合、防水工業協会、管工事業組合連合会、建築士事務所協会、造園建設業協会、電気工事連合会、法面保護協会、測量設計コンサルタンツ協会、地質調査業協会、くまもと建麗会の14団体。

冒頭、県土木部監理課の松本伸也主幹が「コロナの影響で中止やリモートでの開催が続いていたが、久しぶりに対面でガイダンスが出来る」と話し、「多くの高校生が参加している。業界の魅力等を直接伝え、建設業に就きたいと思うようにPRしてもらいたい」と各ブースに呼び掛けた。

建設産業関連の学科がある熊本工業や玉名工業、小川工業、球磨工業、天草工業、八代農業、翔陽、水俣の8高校から、1・2年生約300人と引率教員らが参加。各職種の仕事内容や流れ、新3K、働き方改革へ対応した業界の動きや建設業の魅力を伝えた。